

359

に移動に向かい、お野さんが、窓の天幕前に
やさしく長方形に土と糞、数々の花の種を播
いた。今、新しく青い芽が出始めて、暑さを感
じている。近頃、内に花を見ずには、またも此処を
去らねばならぬ。どうして同じ村に、お野さん
の塋墓が、将に成らんとした時、冷も移動命令に
接した。皆が、この花苗が目ざした。昨今、今に
く、又にも移動される。意、ふ、ふ、と。
豫言者らしく口を揃えて、毎日伸びる芽を賣へて
嘆息もする。オニオンの大
塚君は、アオンと空の籠に、盆栽の村型どって、
造りの卓上に目と鼻を付けて、困る。生計中
おは花を愛する。同胞の素心、心根こて痛々しい
限りである。

九月九日(土)

今朝は胃腸の調子が順調で、目ら軽快を
感ずる。

昼食に、俺はかりの米飯に、フーニユを二個
混ぜ、お茶漬をやって見、久し振りの好物で、結
果を内々愛し、お茶漬も味つた。中にも、味か
った。果然、食ねは、少々奥かつた。目ら犯し
た。田中に、干菜の好果、夕飯から
糖尿病患者のテーブルに、共に食事する。早に
つた。胃腸に、對する、これ、い、い、特別の食餌

がある譯では無い、單に肉の代りに三度毎にミルク
が供給されるだけの事だ。

昨今毎日の如く集会所で、宗教関係其他
の講演が催される。例へば一度も聴きに来か
けた事はない。集会所と言っても天井の無い、陰鬱
な、而も僅かな人員と客の僅かなベンチが備わら
れてゐるに過ぎない。多くは立つて聴いてゐるから
あらん。物置と遂に集会所に充てしめられた。

成す事もない日常の倦怠は、なほ察するばかりだ。
西坂洋二氏の「や説」若し「人」兩篇共一ヶ月
に讀め上げて了つた。現在の年齢に「或」と
讀む「や説」では、單に豪氣地無しのセンチメン
タルな、性に懐疑的な、語を冗漫に喋りつゝゐる
としか思はれない。西氏はとてかく技師が過ぎて
嫌、おれが多々ある、だが連年一ヶ月一ヶ月
に讀まされたのは、現在テニ生生活の無為が
預つて力あると思はれる、と同時に自ら感銘を
起らざるやいのは年がせいでもらう。

バラツクの大人が同僚と違ひ、個々のテニ生生活
に於いて、下りの悲鳴や不平やが耳に達するやいのは
何れ難い、淋しいものもある。

The Journal 或は市民協会の名により、本市
市民に対する立派な市としての声の如き廣告
が掲載されてゐた。五月五日の夕刊であつたが、
其の要領は、「吾人日米市民は日米のPioneers

361

でもあって、お市を home と共に平和に暮らすのが、
 快い生活に今日迄終物に、今迄去る命に
 接し且に服従するのは祖と米に忠誠
 であり、市民としての義務である。今次戦いは必
 勝期に市民の義務を果たすべきである。暫時
 此処と離れるが、終て 国を期に云々
 と相争た事を廣告する。

お市の在住日本人及びオーストラリア人の立退け去る
 火曜日に完了し、人数合計千七百廿五人。家族
 と単身者とは区別されてゐる事は勿論で、七月頃に
 更にアイダホ州 Eden と云ふ地奥で Black
 Canyon Salvigation Project (Twin Falls から
 約二十哩) に Resettle される豫定だと報せらる。

+

五月~~20~~日(日)

ミソウを育てから拾も南一ヶ月に成る。無為
 冒険の生活に、誰れもは漸く感~~感~~熱して、不満も
 憂鬱も薄れりき、宿命的に成りつゝあるのか窺ひ
 知れる。

正午頃 messenger が病院迄を急来られ度し
 南のドクターが所要あるとの事で、おかけると突
 然晝飯からハワイ国巴域の食堂で食事され
 度し、病人は全部全処へ飼する事になったとの布宣
 せに。結構な事で友人達と別に食事するのは
 嫌だか cook の都合もあり已む得ない仕儀でも